

人工膝関節単顆置換術（UKA）を受ける様へ

	手術2日前 (/)	手術1日前 (/)	手術当日・手術前 (/)	手術当日・手術後 (/)	1日目 (/)	2日目 (/)	3日目 (/)
目標		・手術の準備をします			・リハビリを開始します	病院内歩行器歩行できることを目指します	
検査治療	・他科受診の必要な場合は、手術までに受診します	・全身麻酔の場合、麻酔科に受診します（ただし、休日の場合は別の日に診察します）	・手術が午後からの場合、回診時点滴をします ・手術前に弾性ストッキングをはきます	・血液検査をします ・手術後の点滴は翌日まで続けます ・輸血の必要な場合があります	・血液検査をします ・抗生剤の点滴を朝・昼・夕にします ・痛み止めの内服を開始します	・血栓を予防するための飲み薬を夕食後内服します	・血液検査をします
処置		・手術を受ける足の爪に印をつけます		・酸素吸入をします ・足の血流をよくする器械（AVインパルス）をかけます（血栓予防） ・手術中に創部に管が入ることがあります ・膝を機器で冷やします（アイシング） ・背中に痛み止めのチューブ（硬膜外麻酔）が入ります	・ガーゼ交換をします	・創部の管を抜きます ・背中の痛み止めのチューブを抜きます	・管を抜いた所の診察をします ・膝の冷却器を外します
安静				・ベッド上安静です ・ベッドは30度まで起こせます	・歩行を開始します（ただし、硬膜外麻酔や創部の状態を確認します） ・安静度はリハビリで確認しながらすすめていきます		
食事		・麻酔科医師から食事と水分の制限があります 食事（ ）まで出来ます 水分（ ）まで出来ます			・腸の動きを確認して朝から全粥軟菜食が出ます ・座って食事が出来ます	・普通食が出来ます （医師の指示により治療食となる場合があります）	
排泄			・早朝（朝6時ごろ）坐薬を使用します	・手術中に尿の管が入ります	・ベッド又はトイレでの排泄となります	・尿の管を抜きます トイレで排泄できます	
清潔		・入浴・洗髪・爪切りをします			・洗面介助をします ・体を拭きます		・体を拭きます
観察	・手術前の状態を診ます			・手術後の状態を観察します			
教育指導	・主治医より手術治療計画について説明します ・看護師が入院生活について説明します	・看護師が手術について説明をします ・人工膝関節手術後の生活について説明します ・必要物品の確認をします ・深部静脈血栓症について説明します		・AVインパルスについての説明をします ・主治医より手術後の説明があります。（手術中、家族は病院内に待機してください）	・床上での足の運動について説明します （膝を伸ばす練習が特に大切です。膝の裏にすき間がなく延びる様頑張ってください） ・深部静脈血栓症予防について説明します		・膝を曲げる器械（CPM）の使用について説明します ・膝の自動運動について説明します
リハビリ	・リハビリ室にて運動機能・歩行能力などを調べます ・術後のリハビリについて説明します			・足の運動を下図のように始めます  足の指の曲げ伸ばし 足首の曲げ伸ばし	・歩行練習を始めます ・歩行器から杖へと段階的に移行していきます		・器械（CPM）による膝屈曲運動が始まります
説明者							

※状態に応じて予定が変わることもあります。何か質問があれば看護師にお聞き下さい。

担当医 () 担当看護師 ()

入院負担割合	3割	70歳以上(1割)	70歳以上(2割)	70歳以上(3割)
負担額	約500,000円	約150,000円	約150,000円	約300,000円

* 入院費は概算ですので診療内容・病状等により異なる場合があります。

* 入院負担額が3割の患者様は、高額な保険診療ですので「限度額適用認定証」の申請をおすすめします。2022.4.21☆

	4日目 (/)	5日目 (/)	6日目 (/)	7日目 (/)	8日目 (/)	9~13日目 (/ ~ /)	14日目 (/)
目標	・病院内歩行器歩行できることを目指します	・病院内杖歩行できることを目指します					・退院を目指します
検査治療	・血栓を予防するための飲み薬を内服します 			・血液検査をします ・膝のX線写真を撮ります 			・血液検査をします ・膝のX線写真を撮ります
処置	・AVインパルス					・抜糸をします(13日目)	
安静	・杖歩行訓練を行います						
食事	・普通食がでます 						
排泄	・トイレで排泄出来ます						
清潔	・洗髪をします 	・身体を拭きます(2回/週) ・洗髪をします(1回/週)					・抜糸後の創の状態が良ければシャワー浴が出来ます 
観察	・手術後の状態を観察します	・機能訓練、日常生活動作についてみていきます					
教育指導	・退院に向けて、家庭での生活について考えていきましょう			・薬剤師がお薬について説明をします 			・シャワー浴の方法を説明します ・退院後の生活について具体的に考えていきましょう ・入院でのリハビリ目標が達成されれば、退院日を決めていきます (月 日) (退院の目安は個々の状態によって異なる場合があります) 
リハビリ	・器械による膝屈曲運動(CPM)をします ・リハビリの進み具合に従って日常生活で、出来ることを増やしていきましょう ・歩行器で病棟内を歩けるようになったら入院している病棟を移動します	・退院に向けての日常生活動作の練習をしていきます ① 院内杖歩行自立(売店まで自分で杖でいける) ② 杖や手すりを用いて自分で階段昇降が出来る ① ②が出来れば入院でのリハビリ目標達成です					・退院後もリハビリでの評価や指導を行います
説明者							